



《 将来の君たちへ！ 》

君だけではない

苦しいのも君だけではない
悲しいのは君だけではない
みんな苦しく みんな悲しいのだ
それをじっと辛抱しているのだ
どんなときでも自分だけと考えずに
みんな同じだと思いがよい
正直のところ
先輩の誰もがこの道を通ったのだ
注意されて気がつき
叱られて賢くなり
叩かれてこそものになるのだ
そうして私は偉くなり
泣かなくなり 心細くなくなり
やがてうらうらとした春の光が
君の顔に漂ってくるだろう

「我慢と辛抱」

嫌なことをただ耐え忍ぶのが「我慢」
好きなことのために耐え忍ぶのが「辛抱」
我慢の中には不満がある
辛抱の中には希望がある
我慢はいずれ爆発する
辛抱はいずれ実る
我慢はしなくていい
辛抱をしよう

〈 遠藤 俊夫 〉

「辛抱」とは、「辛いことを耐え忍ぶこと」です。自分の目標達成のために、辛くても耐えるときなどに使われます。この「辛抱」ですが、「辛棒」とも表記されることがあります。実は、この「辛抱」という漢字ですが、元々は「心法」と書かれていました。「心法」とは、「心を修める・練り鍛える方法」を意味し、仏教用語です。仏教では、「心」は「器」のようなものであると考えられています。器が大きければ、物をたくさん入れることができます。「心法」は、自分の心を大きくする、そして「自分の心の動きをコントロールする」という教えのことです。心の器を大きくし、丈夫なものを作れるように修行をすれば、理由もなく人を叱ったり、必要のないものを買って無駄なお金を使ったりすることもなくなります。「辛抱」というと「我慢をしなくてはならない」というような意味だと思われがちです。しかし、語源である「心法」と考えると、自分自身をコントロールする方法だと考えることができるでしょう。

「辛抱」と「我慢」はともに、「辛いことを耐え忍ぶ」という意味があります。「辛抱」とは「自らが志した目標のために耐え忍ぶこと」です。耐え忍んだ後に、やってくる目標達成や喜びなどが見える場合に使われます。これに対して、「我慢」とは「自分が嫌いなことややりたくないことを耐え忍ぶこと」です。「辛抱」は、能動的でありポジティブな要素が含まれています。